

洗足徒然日記

こんにちは。報道委員です。

12月も中旬を迎え、今年も残すところあと1カ月弱となりました。2016年を振り返る中で、大半の洗足生にとって最も深い思い出になっていることは、何といても洗足祭ではない



でしょうか。そこで今回は、役職についた生徒ではなく、全ての生徒が洗足祭で活躍したことを伝えたい為、高校1年生のコメントをご紹介します。

「クラス展示は2年目ということもあり、去年よりもスムーズに進めることができました。私は外装を担当し、クラステーマのディズニーをイメージして、シンデレラ城をつくりました。部活のリハーサルなどもあり、クラスに居ることができる時間は少なかったのですが、みんなと一緒に作業をすることはとても楽しくて、いいクラスだなと改めて実感しました。当日はたくさんの方々に来ていただくことができ、嬉しかったです。

そして、私にとっての文化祭のメインイベントはダンス部の公演です。今年は今までで一番多く、3作品に出ることができ、どの作品にも深い思い出がありました。先輩と踊る最後の作品、初めて自分たちで創作し同輩だけで踊った高1作品、ダンス部史上最高の県大会5位の作品です。3月からの半年間の練習はただ楽しいだけではなく、辛いことも悔しいこともたくさんありました。それでも本番のステージに上がって、たくさんの歓声に支えられながら踊ることは何事にも代えがたいです。

そんな公演を創り上げてくださった部長、副部長をはじめとする16人の先輩方は、私たちには計り知れないほど毎日忙しくて大変なのにいつも後輩のことを気にかけてくださり、どこまでも私たちの憧れです。あと半年で先輩からたくさんことを学び、来年の公演では今年の公演に負けない最高のものを創っていきます。

最後に、この文化祭を運営してくださった実行委員の方々、先生方、そしていつも支えてくださる両親に感謝します。ありがとうございました。」

洗足祭では役職についた生徒だけではなく、全ての生徒が活躍しています。洗足生全員でお待ちしていますので、是非来年の文化祭にお越しください。